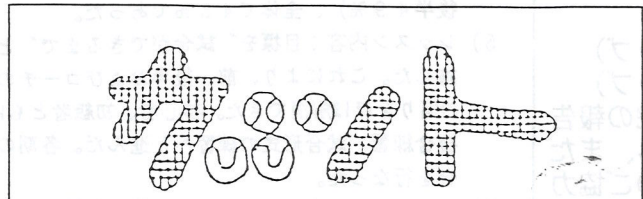


Since, 5. 1972



東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

コート取り当番クラブ

3月	4月分のコート	青葉B
4月	5月分のコート	萩山A
5月	6月分のコート	萩山B

発行責任者・柳 利夫

住所・東村山市萩山町 5-6-26, 301号

編集責任者・黒岩俊雄

☎ 0423-(95)4336

第15回運営委員会報告

2月14日 スポーツセンター2F クラブ室 AM 9:00~13:00

2月21日の『総会』に提出する平成4年度の経過報告及び平成5年度の活動計画について審議する。
 内容については、『総会』報告に掲載しているので省略する。
 平成4年度は、「値上げ」の検討もあったため運営委員会は、臨時も含め15回に及んだ。

1 報告事項

第30回市民春季体育大会

テニス大会日程発表

種目	日時	摘要
男子ダブルス (B)	4月4日 (日)	久米川コート
女子ダブルス (A) 女子ダブルス (B) 壮年ダブルス	4月11日 (日)	午前8時集合 (連盟加入者) 1組1, 200円
男子ダブルス (A)	4月18日 (日)	(一般)
混合ダブルス	4月25日 (日)	1組1, 700円
<申込み日時> <及び方法>	2月28日 (日) AM10:00~12:00 3月7日 (日) 参加費を添えて	
申込み場所	東村山市スポーツセンター	
主催: 東村山市体育協会 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆	後援: 東村山市教育委員会 多数の参加を	
予備日: 雨などのための振替日は、後日お知らせ致します。 (広報部)		

『市民テ』会員の皆様へ

第30回の市民春季体育大会〔テニス大会〕が、4月4日(日)より久米川コートで開催されます。
 毎年多くの会員の方の参加がありますが、この期間は練習が出来なくなってしまうこともあり、大勢の方がこの試合に参加して腕を磨くことと、練習不足の解消に役立てられることをお勧めします。スクールの方でもペアを組んで(B)クラスに出てみるのも、自分の力量と試合経験を積むという点で意義のあることだと思います。

各クラブ報告

美住クラブ	“極秘”春季大会直前強化練習
いつ	3月21日(日) 午前8時より 午後4時まで
どこで	東邦生命グラウンド 3面 (私コート)
萩山クラブ	“親睦練習会”の開催について
いつ	3月14日(日) 午前10時より 午後4時まで
どこで	都立井草高校 2面 (ハード) 練馬区上石神井2-2-43 西武新宿線 上石神井駅下車 10分
※ 要注意	<酒類の持ち込みは厳禁です。>

東村山市民テニスクラブ協議会 第20回『総会』報告

特集号

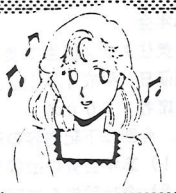
2月21日(日) スポーツセンター大会議室に70名余の仲間の参加により、活発な討論を行って今年度の活動計画と予算方針を確立するとともに、平成6年度における会費の値上げを決定しました。

これにより、市民テの活動の継続性と方向が決められたわけですが、今年1年の活動を担っていただく『新役員』を、まずご紹介いたします。

平成5年度役員一覧表

● 名誉会長	太田 芳郎	●
● 相談役	筑紫 孝	●
● 会長	柳 利夫 (萩山クラブ)	●
○ 副会長	松井 貞二 (恩多クラブ)	○
○ 副会長	武谷 直也 (恩多クラブ)	○
● 財政部長	浜 良一 (諏訪クラブ)	●
○ 財政副部長	稲橋 サカエ (青葉クラブ)	○
● 技術部長	今井 奨 (諏訪クラブ)	●
○ 技術副部長	藤岡 信照 (青葉クラブ)	○
○ 技術副部長	田中 誠 (恩多クラブ)	○
● 広報部長	黒岩 俊雄 (諏訪クラブ)	●
○ 広報副部長	山崎 栄三 (萩山クラブ)	○
● 事務局 局長	谷古 宇勝美 (美住クラブ)	●
○ 事務局 局員	小武 海一喜 (諏訪クラブ)	○
○ 事務局 局員	澤田 正男 (青葉クラブ)	○
○ 事務局 局員	朝倉 裕守 (恩多クラブ)	○
○ 事務局 局員	小松 裕明子 (萩山クラブ)	○
○ 事務局 局員	横井 満子 (美住クラブ)	○
● 会計 監事	川嶋 和興 (萩山クラブ)	●
○ 会計 監事	里見 洋子 (美住クラブ)	○

◎ 恩多クラブ 会長	川路 俊一	◎
◎ 萩山クラブ 会長	阿萬 哲	◎
◎ 青葉クラブ 会長	儀間 大進	◎
◎ 諏訪クラブ 会長	儀浅 元弘	◎
◎ 美住クラブ 会長	望月 淳一	◎



大会期間中のコート利用 [総会報告は、次ページへ]

春季テニス大会期間中は、日曜日の練習コートがなくなります。練習をやりたい人には、早寝・早起きと「視力」の強化に努めたい人は、下記の時間のご利用を!
 △▽▲▽△▽▲・土曜日・午前6時~9時まで○恩多コート ●
 早朝テニス・日曜日・午前6時~8時まで●———○
 □■□■□■□
 ナ イ タ ー・水曜日・午後7時~9時まで☆恩多コート☆

今月のテニスショップ『フジ』による
用具指導日は
3月21日(日曜日) 10時
 から久米川コートで行います。

『1』開会あいさつ.....谷古宇事務局長
 『2』議長選出.....儀間進(青葉クラブ)
 『3』議事.....菊池裕(恩多クラブ)

太田名誉会長の欠席と柳会長の再入院の報告があった。柳会長のメッセージを代読し、また『会則』前文の意義の確認と、各会員のご協力・松井副会長...と盛り上げが発展のポイントであるとのお話がありました。

平成4年度事務局活動報告

事務局

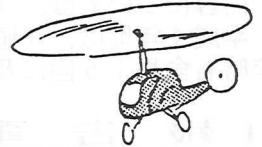
- 運営委員会
市民テの円滑な運営を目的とし、毎月第2日曜日に会合を持ちました。会合回数15回(H4年3月~H5年2月臨時2回含む)
- コートの確保
2.1 市営コート
各クラブコート取りチームの努力と会員の協力のおかげで、ほぼ計画どおり確保できました。
久米川コート 利用日数86日(稼働率86%)
夜間練習コート3面、4月~11月、利用日数30日(稼働率85.7%)、参加人数313人。
早朝練習コート2面(偶数月)、3面(奇数月)、1月~12月、利用日数96日(稼働率88%)
参加者数1262人
2.2 民間コートの利用
*コート確保日数 3日(H4年2月~H4年12月)
*コート確保面数 8面
*コート確保時間 36時間
*参加人数 105人
年末年始の連休に民間コートを借り練習会を計画していたが、市営コート代予算が超過したので中止とした。
- コートの環境整備
3.1 コート整備方法の確立
各クラブ持ち回り制でコート整備を行うという案も検討したが、まぜガットでコート整備についての教宣活動を行いモラルの向上に務めることとした。
3.2 コート管理
ドキュメント「コート整備に関する報告と要望事項」を市体育課長に提出
市民テのコート整備に関する貢献をアピールすると共にコートの不具合箇所の補修を要望した。
- 20周年記念行事
各クラブ代表による実行委員会作り、行事の企画から実施まで取り仕切ってもらった。来賓の方々も多数出席いただき、盛大にして楽しい記念行事ができた。
開催日 平成4年8月31日(日) 於久米川コート
出席者 177名(内来賓26名)
- テニス保険
平成5年も前年同様の保険に加入した。
平成5年1月1日~同年12月31日まで、346名全員加入済み。
東京海上火災保険(株)
保険料467210円
(参考) 平成4年の保険利用状況 13件 受取金額 348,300円
(保険料 436,560円)
- 新会員募集
前年同様、会員数の現状維持を目標とし、募集人数に制限(50人程度)を設けました。
新会員数 59名
- 忘年会
美住クラブ担当で楽しい1年の締めくくりができた。
開催日 平成4年12月5日(土) 於スポーツセンター
出席者 100名
尚、今回は下記内容の改善をした。
1) 忘年会費の徴収を開催日以前に完了した。
2) 会計報告を本部会計にだした。
3) 残金を本部会計に戻した。

平成4年度技術部活動報告

技術部

- 定期練習
1) ジュニア、初心者、初級者を対象にレッスンを実施した。
2) レッソンはI期(1~3月、13回)、II期(6~8月、12回)、III期(11月~12月、5回)に分けて実施した。(合計30回)
3) レッソン回数と実施率は次の通りである。
ジュニア:I期15回、II期9回、III期9回、合計33回、実施率77%
初心、初級:I期9回、II期9回、III期4回、合計22回、実施率73%
4) レッソン受講希望者を事前に募集する登録制を採用した。希望をもとに前半(9:00~10:30)、後半(10:45~12:15)に班分けした。登録人数はジュニアクラス(8名)、初心者クラス(前半28名、後半23名)、初級者クラス(前半23名、後半35名)。
5) 出席表を作り、毎回点呼した。受講者出席率は、ジュニアクラス(56%)、初心者クラス(前半43%、後半32%)、初級者クラス(前半45%、

- 後半49%)、全体で45%であった。
- 6) レッスン内容:目標を「試合ができるまで」とし、カリキュラムに基づいて実施した。これにより、前、後半およびコーチの違いによるレッスン内容、進度の偏りをほぼ解消できた。初心者、初級者ともに基本ストロークに時間をかけ、複合練習、試合形式の練習へと進んだ。各期の最終日に前、後半合同の練習試合を行なった。
 - 7) ジュニア、初心、初級クラスに技術部員をそれぞれ3名、9名および11名割り振り、各々に責任者を設け、コーチの確保に努めた。
 - 8) 春秋市民大会中にJSSのコートを確保してジュニア、初心クラスを主体としたレッスンを2回行なった。4月19日ジュニア3名参加、10月4日初心、初級、聴講生計10名参加。
 - 9) 初心、初級受講生108名を対象として、現在のレッスンの満足度、問題点などについてのアンケート調査(回収率45%)を行ない、極力レッスンに生かす努力をした。アンケート結果は、物置小屋に置き、誰でも見られるようにした。
 - 10) 聴講生制度を利用した人はあまりいなかった。



2. 指導体制
1) 集団指導体制とし、それぞれの役割を分担した。
3. ボール管理
1) ニューボール140ダースとセットボール約32ダースを購入し、ほぼ予定通り使用した。
2) 本井満氏よりダンロップフォート2箱(120球、20周年記念時)とダンロップSF5箱(300球、本井スクール時)の寄付を受けた。
3) 平成5年へニューボール:フォート20球、SF80球と、セットボール多数を引き継いだ。
4. 部内大会
12月13日(日)、ランダムに4チームを編成し、チーム対抗によるテニス運動会を行なった。ミックスを主体とした対抗試合、ターゲットテニス等内容は多彩であった。参加者は70名(男性46名、女性24名)。表彰は全チーム(20周年記念行事の残りのテレフォンカード20枚)。なお、これと平行して甘酒のサービスを行なった。
5. 外部指導者によるレッスン
1) 2月22、23日、テニス連盟主催による中級者対象の森スクール(コーチ:森清吉氏ほか)に26名の会員が参加した。
2) 7月5日、JSS森川コーチによる技術部員対象のレッスンに部員16名が参加し、ボール出しのコツ、練習パターンなどの指導を受けた。
3) 12月19、20日、市民テ主催による中級者、指導者対象の本井スクール(コーチ:本井満氏、儀間林利男氏、熊本昌広氏)に38名(2日間延べ58名)の会員が参加した。
6. マニュアル小委員会による Instructor's manual 起草
スクールのコーチとしての心構えや、指導する際に配慮すること、ボール出しのコツ、プログラムの組み方、練習パターンなどを盛り込んだマニュアルをつくるべく、小委員会がその起草に着手した。現在までに指導者の心得(案)がほぼ出来上がったが、まだ全構想の半分である。この心得(案)を技術部会で検討した後、順次レッスンに活用している。
7. その他
1) 4年度の総会で承認されたコーチ用帽子を30個購入し、活用している。
2) 20周年記念行事のテニス試合の運営に技術部として協力した。

平成4年度の活動報告

広報部

(1) ガットの編集・配付について

新しく各クラブより送り出していただいた広報部員の方々の『ガットの編集』当番表に基づき、'92/3月号のガットから編集を開始し、'93/2月号のガットまで作成をしまりました。

各人の努力の結果、所定の期日(毎月の最初の土日)までに会員の手元に届けるという目標を達成することが出来たと思います。

また、会員の住所変更などにも機敏に対応し、ご迷惑のかわらないように致しました。

『ガットの紙面』については、運営委員会の中身を毎回詳しく報告するとともに、各クラブ毎の行事などについても可能な限り掲載・報道したことで、一定の貢献をしたのではないかと思います。

大きな反省点としては、広報部会が1回しか開けなかったことで、マンネリ化などの弊害の点検や新鮮な情報の交流の場として重要でありますので、お詫びしたいと思います。

毎年のことではございますが、『私とテニス』に原稿を寄せていただいた方、各種イベントなどの際にその報告文などでご協力をいただいた方々にあらためてお礼を申し上げます。『広報部員』各位におかれましては、大変お忙しいところにもかかわらず、我々<市民テ>の発展に重要な役割をはたしてきて『ガット』の継続的で定期的な発行のために、奮闘していただきましたことに対し、氏名を掲載し、お礼申し上げます。

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
名前	黒岩	山崎	太田	新沼	千田	工藤	斉藤	小松	国分	本多	豊山	永井
方名	諏訪	萩山	青葉	恩多	恩多	青葉	諏訪	萩山	美住	美住	萩山	諏訪

(2) 20周年行事への協力

20周年を迎えての記念行事が実行委員会の方々により、準備・計画・実行と盛り上がっていきましたが、広報部では<市民テ>の20年のあゆみを簡単な“しおり”としてまとめました。

全員に配付する(各クラブのご協力のもと)と同時に当日の来賓の方々にもお配り致しました。

(3) 日本テニス協会機関誌で紹介

上記の機関誌JATNo.132号に<市民テ>の紹介記事を[森清吉氏のご指導により]掲載させていただき、全国のテニス愛好家にお知らせすることが出来ました。

財政部

東村山市民テニスクラブ協議会

協議会会長 柳 利夫
財政部 浜 良一
里見洋子

平成4年度会計決算報告

[収入の部]

(1992年1月1日~1992年12月31日 単位:円)

科目	1992年度予算	1992年度決算	摘要
前期繰り越し	1,616,007	1,616,007	
年会費	3,631,200	3,635,400	345名 忘年会剰余金25,499
雑収入	42,793	116,061	定期72,109 普通16,453 本代2,000
合計	5,290,000	5,367,468	

[支出の部]

科目	1992年度予算	1992年度決算	摘要
コート代	1,300,000	1,515,180	市営コート1,395,700 民間コート 119,480
ボール代	550,000	521,554	DF 2070 (NEW1680, SET390)
団体加盟費	20,000	40,000	市テニス連盟(88,000 × 5クラブ)
会議費	100,000	107,320	運営委員会・各専門部会
保険料	436,869	436,869	01,360×321(一般・家族) 振込料0309
技術向上費	320,000	366,654	外部特別講習会2回、技術部会等
親睦費	150,000	150,000	忘年会100,000 柏崎参加補助金50,000
事務局費	200,000	153,114	会員名簿、事務諸経費他
広報費	420,000	434,468	ガット印刷費、郵送費
各クラブ運営費	471,000	471,000	01,500×314名(一般・家族)
各クラブ補助金	200,000	200,000	040,000 × 5クラブ
20周年記念積立金	200,000	200,000	
予備費	100,000	81,706	平成3年忘年会費不足分補助21,706 太田先生レリーフ代補助60,000
小計(実質支出)	4,467,869	4,677,865	△209,996
次期繰越金	822,131	689,603	
合計	5,290,000	5,367,468	

1992年度収支決算 △793,876 △ 926,404 (繰越金取崩し額)

○平成4年市民テ忘年会の剰余金25,499円は、雑収入へ繰入れられました。
○差引残高 689,603円は1993年度へ繰越しとなります。

平成4年度会計監査報告

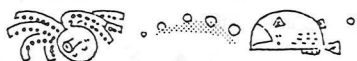
平成4年度決算報告に対し会計監査の結果、収支・帳簿等に相違ない事を認めます。

平成 5年 2月 7日

会計監事

河嶋 和興

岡田 房子



平成5年度前期会員数及び収入表

	平成5年1月1日現在					合計
	新会員 (2,000)	一般 (12,000)	家族 (8,400)	家J (6,000)	休 (2,000)	
恩多クラブ	6	39	16	0	3	58
萩山クラブ	11	55	16	4	3	78
青葉クラブ	14	47	17	0	2	66
美住クラブ	16	62	13	3	3	81
諏訪クラブ	12	47	21	6	2	76
合計	59	250	83	13	13	359
	118,000	3,000,000	697,200	78,000	26,000	3,919,200

5年度会員数 359名
会費収入 3,919,200円



〔参考平成4年度〕 46 226 88 7 23 344
92,000 2,712,000 739,200 42,000 46,000 3,631,200

〔参考平成3年度〕 54 233 97 11 18 359
108,000 2,796,000 814,800 66,000 36,000 3,820,800

恩多クラブの活動報告? チョットお休み 岡林宏哲

恩多クラブでは、<春一番>が吹いた翌日の2月7日(日)、有志23名が立川市の『緑町テニスクラブ』との交流試合を行いました。

まだ強風が吹き荒れている条件下ではありましたが、そこはさすが恩多クラブの面々ですから、[サーブのトス]・[ロブ]など最初は風に流され、とまどいもありましたがしだいに慣れ、試合にも集中しました。

『緑町テニスクラブ』の方々とはテニスを楽しみ・親睦をおおいに深めることが出来ました。なお試合結果は親睦が目的でありあえて掲載しません。『写真のメンバーにお訊ね下さい。』



平成5年度の各担当部門の報告は、決算の報告も含め全員の拍手により承認されています。(上記写真と記事は別ですが。)

『20周年記念行事』の報告について

報告者..... 小武海一喜 実行委員長(諏訪クラブ)

20周年記念行事の報告は、上記実行委員会の会計担当者よりの報告に基づき『ガット』誌上で行いましたが、『総会』の席上で全般的な報告を行う。

会員の皆さんの熱烈なご協力と、多数の来賓の方々の参加も得られ、成功させることが出来た本当に良かったと思っています。記念品については、実行委員会の総意として何か『形』の残るものにと、現在も検討中ですのでご理解をよろしく。

なお、会計内容については市民テの会計監査に合わせ見ていただいております。

平成5年度技術部活動方針

技術部

1. 定期練習

- 1) ジュニア、初心者、初級者を対象に定期的にレッスンを実施する。
- 2) レッスン受講希望者を事前に募集する登録制を採用する。
- 3) レッスンはI期(1~3月)、II期(6~8月)、III期(11月~12月)に分けて行ない、初心者クラスと初級者クラスを前半(9:00~10:30)と後半(10:45~12:15)の2班に分ける。
すでに班分けが終了しており、各クラス、各班の人数は次のとおりである。
初心者前半: 27名、同後半: 24名
初級者前半: 26名、同後半: 28名
ジュニア: 13名
- 4) コートは原則的に各班とも1面とする。
- 5) 登録できなかった会員も各班の出席者が少ない日には、その日のコーチの判断で、その日に限ってレッスンを受けられるようにする(聴講生制度)。
- 6) レッスンは昨年に準じ、年間カリキュラムに基づいて実施するが、必要に応じて改めて行く。
- 7) 春秋市民大会中に民間コートが確保できれば、レッスンを行なう。
- 8) レッスン毎に出席を取り、各期の終わりに集計する。出席率は20%程度を目安とし、正当な理由なくそれを下回った場合には次期のレッスンを受けることができないこととしたい。空席には待機中の希望者に入ってもらおう。
- 9) 祝日(5月5日、11月23日、12月23日)の午前中を利用して中級者レッスンを行なう。時間は10:00~12:00、使用コートは2面、対象者はスクール生以外全員。

2. 指導体制

- 1) 集団指導体制を採る。
- 2) 各役員は次の通りとする。
部長: 今井
副部長: 藤岡、田中
スクール責任者: 藤岡(前半)、田中(後半)、浅田(ジュニア)
ボール係: 坂井、木村
イベント係: 小泉、武田
マニュアル小委員会: 浅見(委員長)、荒牧、武田、藤岡、田中、今井

3. ボール管理

従来通りとする。

4. 部内大会

年1~2回部内大会を行なう。

5. 外部指導者によるレッスン

- 1) 市民テ主催による、中級者以上を対象とした講習会を開催する。
- 2) 技術部員を対象とした、指導の仕方に関する講習会を催す。

6. マニュアル小委員会による Instructor's manual 作成

スクールのコーチとしての心構えや、指導する際に配慮すること、ボール出しのコツ、プログラムの組み方、練習パターンなどを盛り込んだマニュアルを完成させ、レッスンに活用する。

7. その他

技術部員の技術アップのため、対外親善試合を行なう。

平成5年度の活動計画

広報部

ガットの編集・配付について

新しく各クラブより送り出していただいた広報部員の方々の、役割分担を早急に確立し、『ガット』の編集作業にかかりたいと思います。

広報部会については、
93/3~4月
93/8月
94/1月
の適当な日取りを決めて開催していきたい。

編集方法や『私とテニス』の取材方法など『ガット』作成のマニュアルに基づきすすめて、所定の期日をきちんと守れるよう努力致します。

なにぶんにも『ガット』には、会員の皆さんの声をたくさん載せることで、生き生きした紙面作りが出来るようになりますので、あらためて皆様のご協力をお願い申し上げます

東村山市民テニス協議会
平成5年度予算

財政部

平成5年2月21日
事務局

〔収入の部〕

(1993年1月1日~1993年12月31日 単位:円)

科目	予算	摘要
前期繰り越し	689,603	
年会費	3,919,200	359名(5年度前期会員数及び収入表参照)
雑収入	11,197	普通利息
合計	4,620,000	

〔支出の部〕

科目	予算	摘要
コート代	1,480,000	コート使用料(民間コートの使用は市営コートの振替え状況に応じて流動的に対応する)
ボール代	530,000	前年度並み
団体加盟費	40,000	5クラブ×08,000
会議費	100,000	運営委員会、各部会
保険料	467,210	01,350×346名(一般・家族・家J)手数料110
技術向上費	200,000	外部特別講習会(テニス連盟・協議会主催)
技術部費	180,000	技術部主催イベント、部会等
親睦費	100,000	忘年会(諏訪主催)
事務局費	170,000	会員名簿、事務諸経費等
広報費	440,000	ガット印刷費、郵送費
各クラブ運営費	699,500	固定費 200,000円、変動費 499,500円
事業積立金	100,000	30周年記念誌発行費
小計	4,506,710	
予備費	113,290	
合計	4,620,000	

1993年度収支 △689,603 (繰越金取崩し額)

各クラブ運営費(変動費)の内訳

	人数(名・銭)	金額(人数×01,500)
恩多	55	82,500円
萩山	71	106,500円
青葉	64	96,000円
美住	75	112,500円
諏訪	68	102,000円
合計	333	499,500円

事務局

平成5年度事務局活動計画

1. 基本方針
 - 1.1 運営委員会は毎月第二日曜日に会合を持ち、市民テを円滑に運営するためのアイデアをだしあう。
 - 1.2 市営テニスコートの確保を確実に行なう。
 - 1.3 民間コートの使用は市営コートの振替え状況に応じて流動的に対応する。
 - 1.4 テニスコートの増設、久米川コートの年末年始開放を行政に働きかける。
2. テニスコートの環境整備

テニスコートの補修等環境整備に努力し、行政に対して働きかける。
3. テニスコートの効率的利用

テニスコートの混雑緩和のための方策を検討、実施する。
4. テニスコートの利用状況把握

コート代支出をより正確に把握する、コート利用許可書の雨天振替もれを無くす。以上、二つの目的でコート管理表を作成し、月ごとに木目の細かいコート管理を行う。又、事務局のコート取り要員を増やす。
5. 繰越金について
 - 5.1 繰越金についての基本的な考え方(平成3年度総会にて承認)
繰越金はテニスコート不足を補い会員により多くテニスを楽しんでもらう目的で計画的に消化してゆく。
 - 5.2 平成5年度繰越金消化計画
 - 5.2.1 民間コートの借用(春、秋市民大会等代替コート確保)
 - 5.2.2 早朝練習コート確保期間増(4月~11月⇔1月~12月)
 - 5.2.3 ナイターコート確保面数増(2面⇔3面)
 - 5.2.4 クラブ単位の練習会増
 以上の4項目について予算化し実行する。

5. 平成6年度会費値上げ 事務局

本年は繰越金消化計画の最終年となります。運営委員会で市民テの平成6年からの活動について会員意見を各クラブ単位で聴取し、会員の意見を基に討議検討した結果、下記内容の提案をします。

- 5. 1. 市民テの活動は原則として平成4年の内容を継承する。
5. 2. 市民テの活動を見直し下記改善を平成6年度より実施する。
a. 早朝練習コートの確保
b. 夜間練習コート
c. 民間コートの確保
d. 記念行事の積立
e. 練習用ボール

5. 3 会則改正
会則の付則1を下記の如く改訂し会費の値上げを提案します。
現在の付則1

- 1. 第22条による費用は次の通りとする。
(1) 一般会員 (1年) 12,000円
(2) 家族会員 (1年) 8,400円
(3) 家族ジュニア会員 (1年) 6,000円
(4) 単独ジュニア会員 (1年) 12,000円
(5) 休部会員 (1年) 2,000円
(6) 入会金 2,000円



改定後の会費

1. 第22条による費用は、次の通りとする。

- (1) 一般会員 (1年) 17,000円
(2) 家族会員 (1年) 11,000円
(3) 家族ジュニア会員 (1年) 6,000円
(4) 休部会員 (1年) 2,000円
(5) 入会金 (1年) 3,000円

東村山市民テニス協議会
平成6年度試算

財政部

報5号2月14日
事務局

【収入の部】

Table with columns: 予算, 摘要. Rows: 前期繰り越し, 年会費, 雑収入, 収入合計.

【支出の部】

Table with columns: 予算, 摘要. Rows: コート代, ボール代, 団体加盟費, 会議費, 保険料, 技術向上費, 技術部費, 親睦費, 事務局費, 広報費, 各クラブ運営費, 事業積立金, 小計, 予備費, 支出合計.

平成2年度 ~ 平成5年度収支推移表

Table with columns: 2年度, 3年度, 4年度, 5年度, 6年度, 会費値上げ案. Rows: 新会員, 一般, 家族, 家族Jr, 休部, 合計, 年会費, 雑収入, 実質支出, 収支実績.

●平成6年度の年会費は、会費値上げによる会員数の減少を想定した金額です。

参考 1

Table with columns: H2年, H3年, H4年, H5年(案). Rows: 会費収入, 支出合計, 収支, 次年繰越金.

参考 2 繰越金消化計画についてのいきさつ

平成2年の総会に於いて繰越金を消化すべきであるとの意見がだされ運営委員会で討議の結果、繰越金は単年度限りで見たとし、こくわずか増減するというのが健全な姿であり、その面から余剰繰越金は毎年計画的に消化すべきとの結論となつた。平成3年の総会に於いて余剰繰越金の消化計画を提案し承認され、同年より実施し平成4年も前年同様実施。

第20回の『総会』は、各クラブ会長さんなどの声掛けもあって70名余の会員の参加で開催されました。6年度からの値上げの提案などもあったため終始活発な議論を行うことができました。詳しい議事録は間に合いませんでしたので、次号に掲載したいと思いますのでよろしくお願いします。

広報部から会員各位へ

広報部長は、その職に長くあるため会員の中から、長年温めた座り心地のよい『イス』を奪う者が現れるのを極力恐れているとの極秘情報あり。

なるほど、最近の紙面はマンネリ化も甚だしく会員の動向などにも誠に無神経で読む気も起きない。

例えば、青葉クラブ・萩山クラブの会長はなぜ今交替したのか？交替した真の理由は何なのか。他のクラブの会長だけでなく一般の会員にとっても、どうしたら交替出来るのか、はたまた交替劇にまつわる権力抗争とそこではどれだけの“罫”が動いたのかなど・・・会員が知りたがっている又は全くどうでもよいようなニュースなどをもっと掲載しないとリニューアルでは済まなくなるのではないのでしょうか。

『総会』の席上でも黒岩広報長は、自らの怠慢を表向き認めたようなことを言ったが、特捜部の見るところでは無様な態度を露骨に示していると思われまます。

このようなことでは、伝統ある市民テの機関紙として20年も会員の皆さんに親しまれてきた歴史に汚点を残すことになるのではないのでしょうか

そこで『ガット』の紙面の改善と読みたくなる情報を満載でき、いつも手元において役に立つものとするため、特捜部では会員の皆さんに心からのお願いを申し上げます。

このことが『広報部員』の士気を高めるとともに、広報部幹部の怠慢を排除できるものであることを確約致します。

- 春・秋の大会及び市内団体戦○柏崎との親善試合●部内イベント大会○各クラブ『夏合宿』及び独自の行事●早朝及びナイター練習等の報告○ジュニア、各級スクールの報告・要望感想文●部外大会の戦いの報告○森・本井教室の感想文●会員のテニスとは別の分野での活躍の話題や動静○仕事など

で海外に行ったときのその国のテニス事情など・・・etc


これまでの『ガット』にも掲載されているものもありますが、『私とテニス』とセットにし、充実した紙面が現出するでしょう。特捜班では、タイミング良く会員の皆さんに声を掛けますので(原稿用紙など持参し)最大限のご協力をお願いします。仕事を放り出し・家事を手抜きしてでも原稿を仕上げるとの使命感が『ガット』を支えてきたことを申し添えます。

最後になりましたが、私達の『ガット』も秋には200号に到達します。。。。。。

市民レベルの手作りクラブが、大好きなテニスを通じて友達との和、友情・連帯の輪の拡大にも『ガット』が少なからず貢献してきたとの熱い思いを共有し、新たな出発の年にしていきましょう

職 名	恩多クラブ	萩山クラブ	青葉クラブ	美住クラブ	諏訪クラブ
会 長	川路俊一	阿萬哲大	儀間 進	望月淳一	浅田元弘
副会長	増本建一 永江達司	藤田昭高 鶴丸 信 森田 護	萩野洋子 荒牧孝臣	石橋健男 鈴木裕一 田中道隆 松原秀樹	田畑 学 石黒末広
会 計	松井光子	中澤秀美	斉藤純子	河野宏子	小松恵子
広 報	千田茂夫 荒木ゆきえ	豊山知子 荒川弓子 山崎栄三	太田玲子 浜 敬子	庄司弘美 名久井明夫	永井悦男 斉藤文子
技 術	川路俊一 田中 誠 中根一夫 新沼則夫 木村 宏 松井貞二 菊池 裕 武谷直也 武田栄美子	米沢行夫 坂井雅治 中澤考泰 小泉 誠 常広治彦 浅見耕司	藤岡信照 荒牧孝臣	本保俊昭 谷古宇勝美	今井 奨 桜井宣行 浅田元弘 黒岩俊雄
コート取り りチーフ A B C	井上準之助 三原迪子	田中正子 樋口善一 大川 濃	秋元良子 松井公子	宮台トモ子 竹内敬子 斉藤裕子	間野雅之 佐藤忠夫
テニス連盟 理 事	菊池 裕 武谷直也	鶴丸 信	大武光子	松原秀樹 桑原まさ子	長倉 誠
市民テ事務局 会 長		柳 利夫			
副会長 副会長	松井貞二 武谷直也				
事務局長				谷古宇勝美	
技術部長 副部長 副部長	田中 誠		藤岡信照		今井 奨
広報部長 副部長		山崎栄三			黒岩俊雄
財政部長 副部長			稲橋サカエ		浜 良一
事務局員	朝倉 守	小松裕明	澤田正男	横井満子	小武海一喜
会計監査員		河嶋和興		里見洋子	

総 会 特 集 号



『市民テ役員一覽表』

役員への協力依頼

I コート取りチーフ

「市民テ」のいのちであるコート確保に奮闘してくれる頼りになる方々です。電話等でコート確保の要請を皆さんに致しますので、快く受けてくださるようお願いいたします。

II コート取りチーフ

今年の「ガット」を毎月発行して下さる方々です。特捜部の依頼を待つまでもなく、会員の皆さんの自発的な原稿こそこの人たちを喜ばせるものなのです。

III 会計（各クラブ共）

文字どおり市民テの大事なお金の支払いに関して絶大なる権限を持っています。コートの確保の際に立替え払いをしていたお金の清算や、各クラブの行事事計などに中心となって活躍

IV 技 術 部

自分たちの練習をしたいという気持ちを少し抑えられる能力と、他人を走らせたり汗をかかせたりすることに快感を覚え、白い帽子をかぶるのが好きな集団

V 連 盟 理 事

東村山テニス連盟の理事を努める方々で、市内各所にあるテニスクラブをたばね、春と秋のテニス大会に深く関わっています。したがって関係の事柄については各クラブ毎に出ている理事の方を通して知ることが出来ます。

